

★ 介護ロボット導入活用支援事業について【H30年度～〈知事重点事業〉】

背景

大阪府では、2025年 3人に1人が高齢者！ 介護サービス従事者は3.4万人不足見込み！！

介護人材の
確保が急務★

現状

- ◇介護現場における、介護ロボットの導入状況（全国）：未導入事業所 約8割
- ・ロボット導入が進まない理由：①予算不足(約6割)②誤作動の不安、使いこなせるか心配(約3割)③活用に違和感(約2割)
 - ・介護従事者の労働条件等の悩み：「人手が足りない」(約5割)、「身体的負担が大きい(腰痛など)」「精神的にきつい」(約3割)といった課題がある。

取組状況

「大阪府介護・福祉人材確保戦略」(H29.11月)に基づき、「**労働環境・処遇の改善**」として、**下記2つの取り組みを地域医療介護総合確保基金(国2/3 府1/3)を活用して実施。**

介護ロボットの導入で、離職防止、定着促進とあわせて介護の質の向上を図る

1 介護ロボット機器購入補助事業

H31予算：1,200万円

- 対象者：府内介護事業者
- 助成額：購入費の1/2助成。ただし、上限30万円
(市場価格がある機器が対象、サ高住など対象外等の条件有)

【H30実績】

- ・44事業所(約8割が特養・老健の施設系)
- ・78台(約7割が「見守り」、約2割が「移乗支援」)
- ・総額約971万円(申請額は交付確定額の約2.8倍)

2 介護ロボット・福祉機器の導入活用研修

H31予算:74.7万円

- 対象者：介護事業所の施設長等の職員
- 機器の活用事例紹介、機器プレゼン、体験会

【H30実績】テキスト作成、研修参加者：115名

「使えるか不安」という声に対応！



見守り



移乗支援 等

介護ロボットとは

介護ロボット＝ロボット技術が応用され**利用者の自立支援**や**介護者の負担の軽減**に役立つ介護機器
※ロボット技術＝3つの要素【情報を感知(センサー系)、判断(知能・制御系)、動作する(駆動系)】

導入効果➡ 「見守り」による訪問回数の減に伴う業務効率化や、「移乗支援」による介護者の腰痛予防 等